

## 平成28年度第3回下関市公立大学法人評価委員会議事【要旨】

平成28年8月4日(木)14:00~16:00

下関市立大学本館 棟 5階 大会議室

下関市公立大学法人評価委員会：野口委員長、江里委員、藤上委員、佐藤委員、事務局

公立大学法人下関市立大学：荻野理事長、川波学長、中嶋学部長、佐々木事務局長、法人事務局

1. 開会のことば

2. 議題

事務局 ~事務局説明~

### (1) 平成27年度法人の業務実績に係る評価について

#### 大項目 教育に関する目標

- 中項目1 質の高い入学者の確保に関する目標
- 中項目2 学士課程教育の充実に関する目標
- 中項目3 修士課程教育の充実に関する目標

=ヒアリング(前回の続き)=

委員長

項目番号 20-3 (生活支援の充実)

平成27年度はハラスメント事案は無かったと考えて良いか。

理事長

相談があったのが5件、ハラスメント防止委員会で取り上げたのが3件だが、後者は継続案件であり、新規では無い。

#### 大項目

=自己評価区分の妥当性について=

なし

=特筆すべき事項について=

追加及び修正すべき事項なし

=指摘事項について=

項目番号 7-1 (大学院入試制度の見直しと広報の強化)

#### 大項目 研究に関する目標

- 中項目1 独創性及び特色のある高い水準の研究の推進に関する目標
- 中項目2 研究活動の充実に関する目標
- 中項目3 研究成果の公表と社会還元に関する目標

**= ヒアリング =**

委員	<p>項目番号 24-1 (科学研究費助成事業等への申請・採択の向上)</p> <p>科研費申請率が81%となったのに加え、採択率も40%となったことは素晴らしい結果と言える。何か特別な取組みや、採択された人に対して研究費の増額などインセンティブを与えるなどしているのか。</p>
学長	<p>10月に科研費申請についての説明会を開催した。教員評価の中の研究項目において、科研費をとることは重要項目として評価している。また、学内の研究資金についても競争的なものがあるが、その申請条件として、科研費に申請していることを求めている。</p> <p>大学の財政状況が厳しいという意識が教員にも醸成されることが大切で、この数字に満足しているわけではなく、さらに上を目指していく。</p>
委員長	<p>申請率については、以前から当委員会では85%を目指すように言っているので、今後も出来る限り努力してほしい。</p>

**大項目**

**= 自己評価区分の妥当性について =**

なし

**= 特筆すべき事項について =**

追加及び修正すべき事項なし

**= 指摘事項について =**

項目番号 24-1 (科学研究費助成事業等への申請・採択の向上)

**大項目 管理運営に関する目標**

- 中項目 2 財務内容の改善に関する目標

大項目 予算、収支計画及び資金計画

大項目 短期借入金の限度額

大項目 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

大項目 剰余金の使途

大項目 施設及び設備に関する計画

大項目 X 積立金の使途

**= 概要説明 =**

事務局長	~ 決算報告書、財務諸表について説明 ~
事務局(市)	~ 承認申請書、経営努力認定について説明 ~

=ヒアリング=

委員	財務内容については良い数字となっており、問題ない。受託事業等収益が0円となっているが、今後も0が続くのか。
事務局	受託事業等収益の有無については年による。今後については分からない。
委員	貸借対照表の流動資産に立替金が140万円計上されているが、これは何か。
事務局長	教員1名分の科研費について、お金が後から入ってくるということで、その分を立て替えたため、計上した。
委員	図書の廃棄について、基準はあるのか。
事務局長	下関市立大学附属図書館図書処分等に関する手続の要綱により、盗難又は紛失から2年以上経過した場合、財務上廃棄の処理をすることとしている。
委員	人件費比率はどうなっているか。
理事長	平成27年度が70.5%。平成26年度が69.4%、平成25年度が若干高く、72.7%。概ね70%前後で推移している。
委員長	学生納付金だけで人件費を賄える計算か。
事務局長	学生納付金は決算ベースで80.65%であり、賄える計算となる。
委員長	未収学生納付金が大きく減っているが、何か取組みをしたのか。
事務局長	<p>入学金について以前は分割納付、延納を認めていたが、入学金というものの性質を考えたときに、入学前に支払って頂く必要があるということで、制度変更して認めないようにしたため、その未納分が減少している。</p> <p>また、授業料等で債権の償却処理をした金額が、新たに未納として計上した金額より多いため、減少している。</p>
委員長	その他未収金が増えた要因は何か。
事務局長	前学長の退職金に係る運営費交付金と、市からの受託研究費の未収分である。
委員長	修繕経費8,360,484円と、積立金取り崩し額60,120,647円の用途は何か。
事務局長	修繕経費については、通常の細々とした修繕の積み上げである。積立金取り崩しについては、大きな工事として、障害者差別解消法の施行に伴い、厚生会館のエレベーター設置工事が約2,500万円、その他トイレ改修、外周フェンス改修などである。

大項目 ~X

= 自己評価区分の妥当性について =

なし

= 特筆すべき事項について =

追加及び修正すべき事項なし

= 指摘事項について =

なし

法人役員報酬の一部改正について

= 概要説明 =

事務局（市） ~ 改正概要説明 ~

委員長 他の公立大学と比較して、多い少ないはあるのか。

事務局（市） 他も、自治体の給与水準に準拠していると思う。

= 意見について =

なし

= 本日の審議終了 =

3 . 閉会のことば

~ 次回、評価結果書のとりまとめ

— 閉会 —